

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報		事業番号		0040/450525/02/01		事業の種類		4
年度	19	事務事業名	防災事業	作成日	平成21年1月20日	重要度	5	
予算事業名		防災事業		担当部課名	総務課			
政策名		すこやかに暮らせる、心かようまちづくり						
施策名		消防・防災体制		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の被害が軽減できる						

2 事業の概要 Do

実施の概要		災害から市民の被害を軽減するため、行政と地域、市民が一体となった防災施策が必要不可欠であり、また、災害に備えたハード、ソフトにわたる的確な準備が必要である。				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	防災講演会	回	1	1	1	1
	中学校区防災訓練	回			1	1

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.900	0.900	100.0	0.900	100.0	0.900	100.0	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.000	-	
支出内 訳	人件費	8,947,008	8,451,834	94.5	8,579,350	101.5	8,448,372	98.5	
	事業費	3,917,911	1,489,186	38.0	2,669,144	179.2	2,621,000	98.2	
	合計	12,864,919	9,941,020	77.3	11,248,494	113.2	11,069,372	98.4	
財源内 訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	1,900,000		-	75,000	#####		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-	900,000	#####		-	
	一般財源	10,964,919	9,941,020	90.7	10,273,494	103.3	11,069,372	107.7	
	合計	12,864,919	9,941,020	77.3	11,248,494	113.2	11,069,372	98.4	

4 評価指標

【有効性】

指標名1		防災講演会							
指標説明(式)		開催回数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
回数	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2		中学校区防災訓練							
指標説明(式)		開催回数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
回数	目標	-	-	#####	1	#####	1	100.0	
	実績	-	-	#####	1	#####			

【効率性】

指標名1		防災講演会参加者1人当たりコスト							
指標説明(式)		(事業費)／参加者数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	125	0	-	0	-	166	#####	

指標名2		矢野中校区防災訓練参加者1人当たりコスト							
指標説明(式)		(事業費)／参加者数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績	0	0	-	199	#####	250	125.6	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	防災に対する意識を高めるための講演会を社協との共催により適切に実施できた。また、地域・学校等が一体となった防災訓練を矢野川中学校校区で実施できた。	4	4
	市民ニーズ	防災に対する市民のニーズは高いと考える		
有効性	成果目標(改善)達成度	防災に対する意識を高めるための講演会を社協との共催により適切に実施できた。また、地域・学校等が一体となった防災訓練を矢野川中学校校区で実施できた。	4	4
	市民サービス	防災の意識を高めることができた		
効率性	コストの節減	社協との共催により防災講演会を実施したためコストを節減できた	4	4
	手段の最適性	現行の方法が最適である		

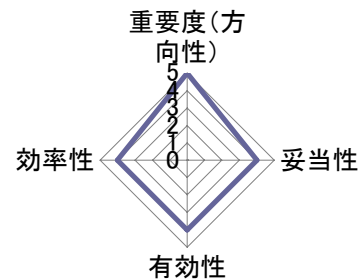
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民ニーズ	市民に対する継続した防災に対する啓発が必要である。

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民ニーズ	市民ニーズに適正に対処し、災害に備えることが必要である。
H18→H19予算反映額		



(2) 20年度の実施方針

市民ニーズに適正に対処し、災害に備えることが必要である。

検討の有無	—
総合指標	24